

来ぶらり75

多 くの人にとって図書館との最初の出会いは、小学校の図書室ではなかっただろうか。私もそのはずである。小学校では図書係（委員）なる役を務めたこともあったと記憶しているのだが、図書室の印象は薄い。中学・高校の図書室もしかり。どうやら小中高等学校の図書室は、読書感想文などの宿題を片付けるために利用したくらいで、したがって、勉強とのつながりが強く、あまり楽しい印象が残っていないせいかもしれない。

少 年期の図書館の記憶はむしろ公立の図書館にある。そこには、学校にはない多くの本が置かれていた。自宅から歩いて30分程の所に古い図書館（大田区立池上図書館）があった。休日にはよく通って、半日くらい書庫の中を彷徨っていた。古い映画雑誌をまとめ読みしたり、少々背伸びして物理や化学の本を拾い読みしたり、木暮理太郎著『山の憶ひ出』を発見して喜んでた。あるとき澁澤龍彦訳『悪徳の栄え』に行き当たり、内容に目を見張ったものの、中学生の分際で借り出す程の度胸は無く、書庫の隅で読んでいたのも古い記憶である。そのうち近くに新しい立派な区立図書館ができて便利になった。しかし、古い図書館と比べると何だか味気なかったのは、「古色蒼然」の魅力が欠如していたせいであった。

図書館の中で

図 書館に足を向ける目的は、1) 当てもななく面白い何かを見つけに、2) 特定の分野の資料を探しに、3) 特定の本を読み・借りに、などであろう。少年・青年期は主に1)であった。時間と図書館の最も贅沢な利用法であると思う。古書店街で一日を過ごすのも同じである。懐が暖かければ古本屋、そうでないときには図書館に行った。大学に入り、学生・教員として研究・仕事のために図書館を使うようになると、その目的は2)か3)となった。もちろんそれらは図書館の本来の目的であり、現在に至るまでおおいに活用している。しかし、悲しいかな、1)を楽しむ余裕はなくなってしまった。若い皆さんには、時間のある今のうちに1)の醍醐味を堪能していただきたい。

昨 今の社会では、外から否応なく押し寄せてくる情報の洪水に押し流されがちである。「押し流される」とはうまい表現だと思う。本人がそれと意識していない内に、何となく自分の進む方向が固められてしまうこともあるのだ。洪水の中を漂うのではなく、知識の「静かな」森の中の彷徨から、それぞれの向かう先を見つけて欲しい。

図書館長 荒川 一郎

(理学部教授)

4月1日から大学図書館長に就任

あなたは直情径行型？ それともぼんやり型？

ドイツ文学科助教授 / 保阪良子

皆さんは何か調べたい時、どのようにしていますか？まずは、インターネットで検索してみるという人が多いでしょうか。その場合、知りたいことに関する本をインターネットで探す、そしてその本をネット上で注文したり、本屋さんで購入したり、図書館で借りたりというやり方がありますね。もうひとつは、調べたいことそのものをインターネットのWikipediaや何らかのサイトで見つけて読んでみるという方法だと思います。

両方のやり方に共通しているのは、ピンポイント作戦ということです。つまり、知りたいことが明確で脇目もふらずまっしぐらという直情径行型調査法です。この方法のいい点は、比較的手間ひまがかからない、PCの前に居ながらにして山ほどの情報から取り出せるということでしょう。ただ、問題点もあります。それは、実物の本に全く手を触れずに本や情報を手に入れてしまうということです。また、知りたいことの周辺にあるもろもろの事柄が目に入らないということです。それからこれが一番重要なことかもしれませんが、皆さんのすべてが、あるいは皆さんがいつでも、知りたいこと、調べたいことが明確であるという訳ではないということです。

この3つの問題点をクリアしてくれるのが図書館という場所です。まず、本屋でも図書館でもいいんですが、実物の本と遭遇できるのがいい点で

す。サイト上の情報はそれがいつのものなのかという記載がないことがほとんどで、そのサイト自体がいつか消えてしまうという可能性もあります。それに対して、紙の本には、いつ、誰が、書いたものなのか必ず書いてあるので情報の出どころがはっきりしています。欲しかった本なんだけど、これ意外に使えないなあ、ということも実物を手にすることで発見できます。ただ、本屋は売ることが目的なのできれいな本だけ、また、大まかに言って、著者別、出版社別、売れるか売れないかといった判断基準で並べられていて、それが図書館との大きな違いです。

図書館は共通の図書分類法に従ってテーマごとに本が並べられています。必要としている本のまわりにそのテーマに関するさまざまな本(古い本、絶版の本も含めて)があるので、背表紙のタイトルを見るだけでも何となく全体像が見えてきます。実物の本を手にしてパラパラとめくってみることで、結構いい本、使える本との出会いもあります。手垢がついている本ということは、役に立つ本なのかなあという想像もできます。大まかな分野は分かっているけれどテーマが絞りにくい、とか、何か卒論やゼミ論で書きたいんだけどテーマが見つからない、という時に、ぼんやりと図書館の本の中を散歩してみてください。意外なところに意外なヒントが隠されています。一見、無駄と思える遊びの時間と空間を図書館で味わうようにしたら、皆さんの誰もが持っている「知」に対する欲求、好奇心はおのずと満たされる！と断言してしまいます。ピンポイント作戦直情径行型調査法とぼんやり散策型調査法、この二つを上手に使いこなしてみましょう。皆さんの到来を図書館は待っています。



四月、大学は新しい出会いで満ち溢れ、教科書のことなどは忘れ去られていました。「大学の教科書は高い!!」そう思っている人も多いのではないのでしょうか。実際にそう思っていた私は、どうにかして出費を抑えられないものかと図書館に向かいました。何気なく棚を見ると、教科書に指定された本があるではないですか。そこで、貸出の上限10冊まで借りた私はそれを持って最初の授業に出席し、教科書の使い方をチェックしたのです。所有した方が良い本は購入し、必要なものは一部分だけコピーしました。そうすることにより出費を最小限に抑えることができたのです。

座右の書は足で探せ

最初は化学の専門書を探しに行くだけでしたが、やがて他の棚も気になり眺めてみると、面白そうな本がいっぱい!! 片っ端から借り出し、面白くなかったら即返却。こうして、自分で購入しただけでは不可能な知識の蓄積ができるのです。また、図書館の本は各フロアの表に出ているだけではありません。書庫にはそれ以上の数の本があるのです。直接書庫に入ったり、検索システムを使ったりして探します。

以上私が発見した方法ですが、実際に足を運んで自分なりの使い方を見つけ、より一層学生生活を楽しんでみてはいかがでしょうか。 化学科4年 / 熊谷 篤

レポートを書くとき、ゼミ発表のとき、そして毎日の授業など、大学生活では沢山の文献が必要になります。私が卒論を書いた際、必要な資料のなかには100年前に出版されたものもあり、どうやって集めようかと頭が痛くなりましたが、そこで活用したのがNACSIS webcatです。これは学習院はもちろん、日本全国の大学図書館が所蔵している文献の情報が分かる検索システムです。これで、古い資料も入手することができました。さらに、キーワードを入力して検索すると、関連文献が一覧表示され、どの文献がどこにあるのか一目で把握でき、とても便利です。ネットワークの恩恵を受けつつ、目当ての

頼りにしています

本を見つけたら、紹介状をもって所蔵先の大学に閲覧に行くか、遠ければ、送料を払って学習院の図書館に取り寄せてもらうこともできます。

図書館の利用に慣れるまで、分からないことが出てくるかもしれません。何かあったら、ぜひレファレンスカウンターの方に話してみることをお勧めします。相談に行くと、いつも快く丁寧に答えていただき、優しさが身に沁みて、仏さまのように後光がさして見えたこともありました(涙)

哲学科卒 / 下田智子

もはや8年も前になりますが、私が本学経済学部に入学した1997年頃、一世を風靡したWindows 95の発売から約1年半が経過し、インターネットが世に広まりはじめるとともに、生活に支障をきたすほどそれにのめり込む「インターネット依存症」も注目されました。同時に、キーワード検索で瞬時に情報を入手できるインターネット(正

「インターネット依存症」の処方箋

確にはWorld Wide Web: WWW)の利便性に魅了された人は、調べ物をする際にWWWのみを探すようになりました。用語としては全く定着しませんでした。当時これを「インターネット「依存症」と命名した人がいました。

現在、この「インターネット依存症」が学生の中に蔓延しています。特に、WWWの情報だけを安易に参照してレ

ポートなどを作成する学生が非常に目立ちます。WWWは情報源として、「最新」情報には有用な反面、「品質」で図書などの印刷メディアに劣ります。その上、学生が必要とする情報の多くは、既に何らかのかたちで出版され、大学の図書館にも少なからず納められています。ですから、情報収集の際は、WWWよりもまず図書館に目を向けましょう。なお、本学の蔵書はWWWから検索できませんが、このような目的でWWWを活用することはやぶさかではありません。



経営学研究科博士後期課程3年 / 下田俊樹

学生証・身分証を持っていますか!?

図書館入退館システム

謎々 - 「どこの大学図書館に行っても入り口にあるものな〜んだ?」 答えは、「入退館システム」です! 今度は、それって何? ですよ。それは、入館と退館で別々の専用通路を持ったゲートのことです。それって何のためにあるの? ですよ。説明します。

「退館」ゲートは、図書資料と私物の区別を行うためにあります。だから、図書を無断で持ち出すと、退出口で警告音が鳴ります。ぶう〜!

では次に、「入館」ゲート。これは、利用者皆さんの快適な学習・研究環境を確保し提供するための装置です。それに、皆さんの安全を守るためにあります。なお、入館するときには、ちょっとしたルールが必要です。それは、学生証を忘れないで! それから、教職員の場合には、利用証を!

入るときは、とても簡単です。まず、向かって右側の入館ゲートの手前にあるカードリーダーの溝に、学生証を差し込み奥から手前にゆっくりと引いてください。これでゲートを手で押して入館完了です。



最後に、私たち図書館員にとって、この4月から導入した入館ゲートは頼もしい味方です。不審者を通せんぼします。それに、正規入館者の正確な集計も教えてくれます。

あっ、退館するときには、学生証は必要ありませんよ!

大学図書館 運用課 / 鈴木宗一

就職活動に、レポート作成に効く!

日経テレコン21

日経テレコン21は日本経済新聞社が提供する国内最大級のニュース&ビジネス情報データベースです。学内ネットワーク接続PCから図書館ホームページにアクセスして、いつでも自由に利用できるようになりました。レポート作成、ゼミ発表、就職活動など学生生活のさまざまな場面で、新聞記事情報、企業情報、人事情報、経済情報などを入手して活用してください。

新聞記事は日経新聞4誌の記事を検索してその場で読むことができます。試しに「スイカ」と入力して、JR東

日本の乗車カードが電子マネーとして急速に普及していること、ライバルはエディ、コンビニに普及するには手数料が高い、など掘り下げた内容の記事を手に入れました。日本経済新聞と、より専門的な日経産業新聞、日経流通新聞、日経金融新聞を同時に検索することで、短時間で客観的・高品質な情報の入手が可能になっています。

アクセスするには下記の順でクリックしてください。終了時はログアウトを忘れずに。

図書館ホームページ 外部オンライン・データベース 新聞記事を探す 日経テレコン21
大学図書館 運用課 / 広瀬淳子



「来ぶらり」のバックナンバーは大学図書館ホームページ (<http://www.glim.gakushuin.ac.jp/>) で公開しています。

来ぶらり No.75 2005年4月1日発行

発行責任者: 荒川一郎 編集委員: 山本有里・工藤晶子

学習院大学図書館 〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1

☎03-3986-0221(代) 内239㉔(レファレンス) 内239㉗(閲覧) 03-5992-100㉘(閲覧直通)